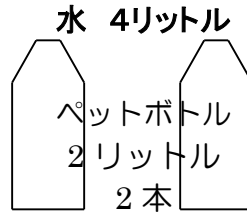


ベンリーHL60 施工要領

二瀬窯業株式会社

練り混ぜ



- ① 容量20リットル入りのペール缶に水(4リットル)を入れ
- ② ハンドミキサーで混ぜながら ベンリーHL(25kg)を徐々に加え
- ③ 材料投入後、ハンドミキサーで2分～3分練り混ぜてください。

練り上がり

ベンリーHL60(25kg)1袋の打設量 —— 12リットル/袋

施工伸び表

1割のロスを見込んで試算

厚さ	1袋当たりの伸び 施工(打設)面積	1坪(3.3㎡)施工する場合の ベンリーHL 使用量(袋)
5 mm	2.2 ㎡	1.5 袋
10 mm	1.1 ㎡	3 袋
15 mm	0.73 ㎡	4.5 袋
20 mm	0.55 ㎡	6 袋

下地処理

- ① 打設面(流し込み面)にはつりガラなどの異物が無いことを確認ください。
- ② プライマー塗り
 - ・下地が乾燥している状態で SL フロアー専用プライマーの 4 倍希釈を 2 回塗りしてください。

¥

SL フロアー専用プライマー	原液	水道水
4 倍希釈液の調合比	1	3

・プライマーはハケやブラシを用いてコスリ付けるように塗布してください。

・1回目が透明に乾燥してから、2回目を塗りつけてください。

1回目から2回目の塗布間隔の目安：夏期 1～2時間、

冬期 3～4時間程度

・乾燥の目安時間を過ぎても低い部分に溜まってなかなか乾燥しない

プライマーは、ハケでのばして乾燥させてください。

・プライマー塗布後は粉塵等が付着しやすくなりますので、できるだけ

早くベンリーHL60の施工を行なってください。

③レベリング性が良いので、傾斜面の施工はできません。

ハンドリング時間と施工面積

① 速硬性なので、練ってから10分以内に打設してください。

打設(流し込み)・仕上げ

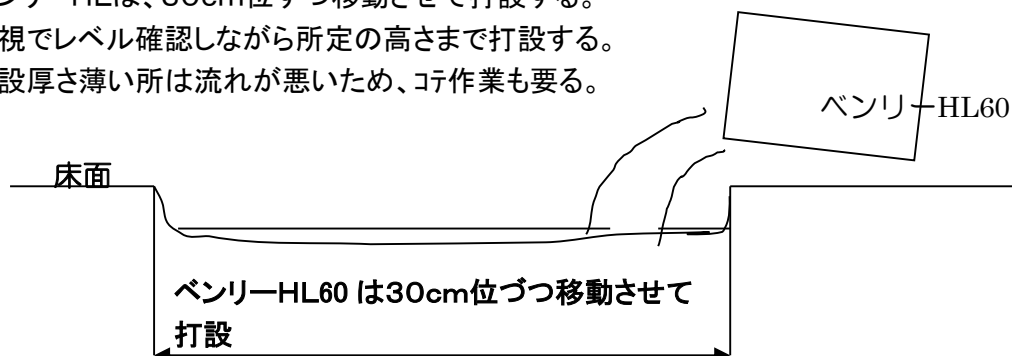
速硬性なので、1度に施工できる面積は1坪(3.3㎡)以内です。

ベンリーHL60の打設(流し込み)

①ベンリーHLは、30cm位ずつ移動させて打設する。

②目視でレベル確認しながら所定の高さまで打設する。

③打設厚さ薄い所は流れが悪いため、コテ作業も要る。



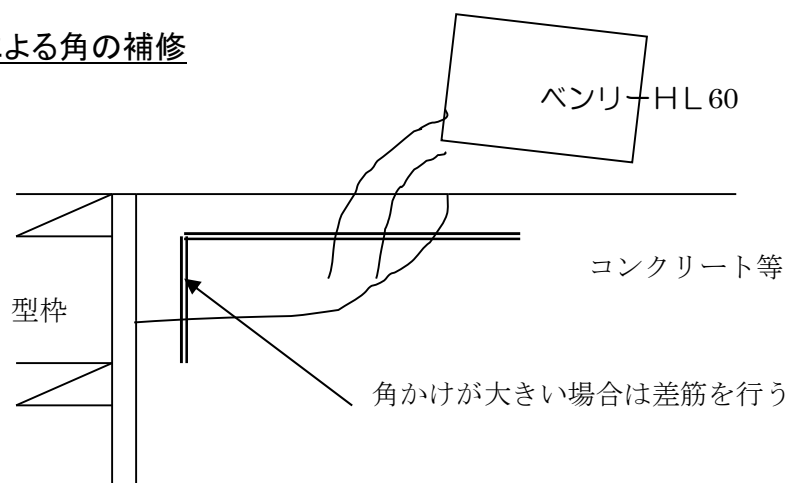
ベンリーHL60 の仕上げ

ベンリーHL60 の打設面は平滑になるので、珪仕上げは要りません。

粗面仕上げの場合は、硬化前にタイミングを見てほうき引きなどを行う。

(参考)

ベンリーHL60 による角の補修



打設後の養生

① ベンリーHL60 打設後、養生中は急激な乾燥を避けてください。

(注意)ベンリーHL の硬化反応時は、打設後1時間程度の間で40～45℃程度に発熱しますので、養生中は上には物を置かないようにしてください。また、乾燥が著しい場合は散水してください。

② ベンリーHL60 打設後1～2時間で次の作業(タイル張り・シート貼りなど)が可能

(注意)セメント系の接着材でタイルなどを張る場合は、下地面に水打ちをしてから施工してください。

ベンリーHL60 強度特性 (室内温度20℃)

打設からの時間	圧縮強度(N/mm ²)	接着強度(N/mm ²)
1 時間	7.6	—
2 時間	12.7	1.04
3 時間	15.2	1.13
6時間	18.9	1.09
24 時間	21.3	1.18

注意事項

- 1.施工前に補修面を十分に水洗・清掃してください。
- 2.気温が 5℃以下及び 5℃以下になると予想される場合は、施工を行わないでください。
- 3.直射日光・風雨時にはシート掛け等、十分な養生を行ってください。
- 4.ベンリーHL60 の保管は、湿気・通風を避ける場所にしてください。
- 5.固まったものの使用は避けてください。
- 6.ベンリーHL60 には練水の外、弊社が特に指定するもの以外は混入しないでください。
- 7.ベンリーHL60 硬化前の雨水等による濡れは、白華の原因となりますので注意してください。
- 8.ベンリーHL60 の品質保持期限は製造後 3 ヶ月です。